

## 2005 年上半期[1 月～6 月]コンピュータウイルス届出状況

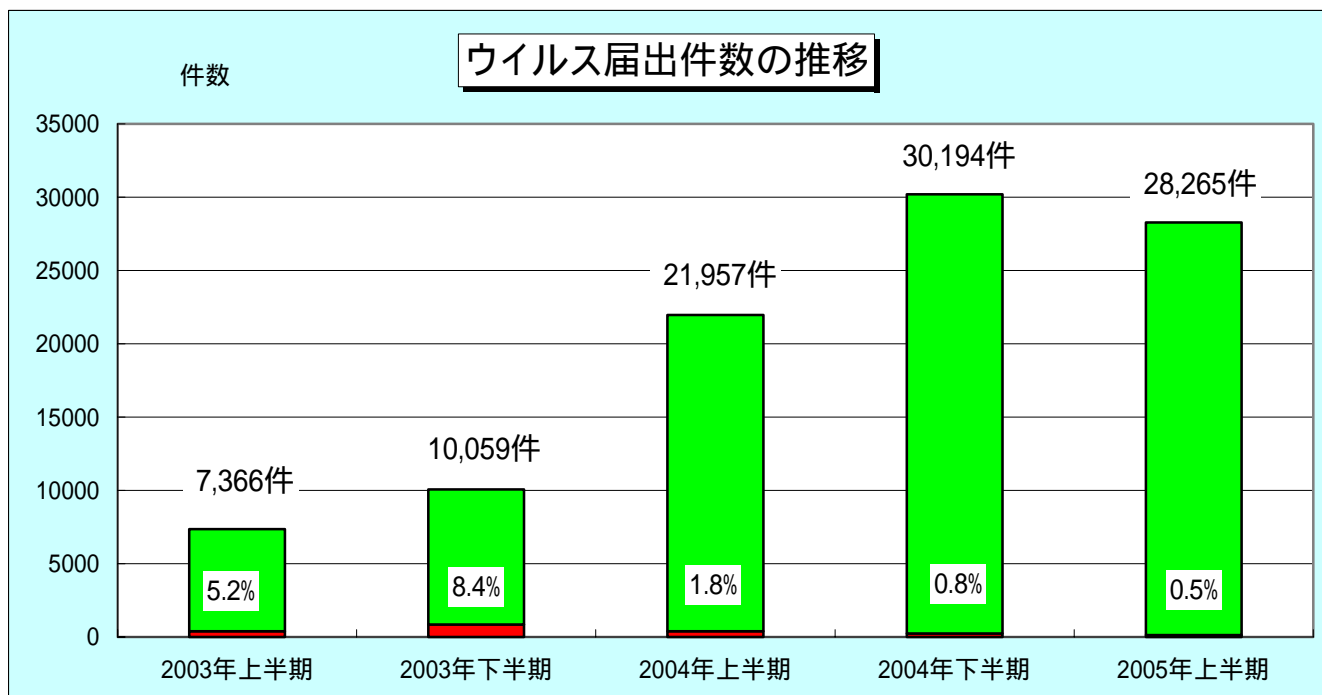
独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2005 年上半期[1 月～6 月]のコンピュータウイルス届出状況をまとめました。

### 1. 届出件数

2003 年から増加傾向にあった届出件数は 2004 年下半期の 30,194 件をピークに、2005 年の上半期は 28,265 件と、若干の減少となりました。

2005 年上半期は、昨年から猛威を振るっている W32/Netsky に加え、W32/Mytob に複数の亜種が発生し、多数の届出が寄せられました。(3. ウイルス別届出件数を参照)

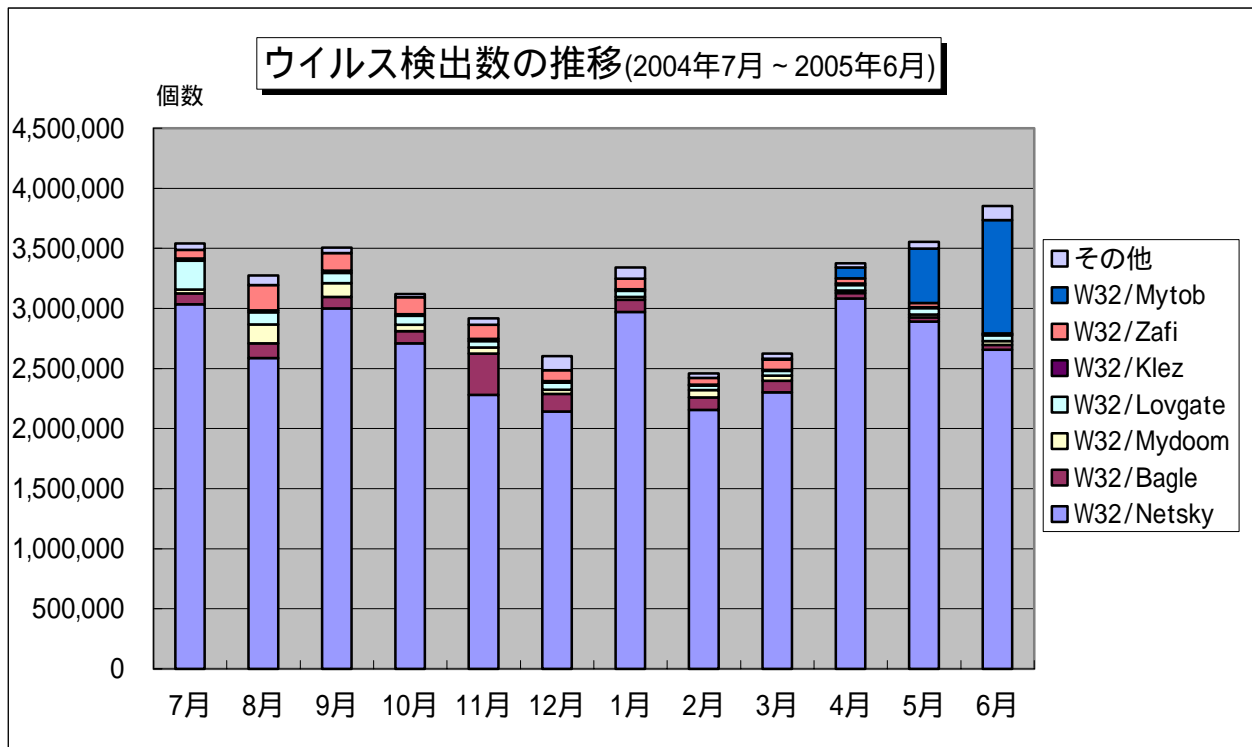
下記グラフは、IPA セキュリティセンターが受け付けた半期(6 ヶ月)ごとの届出件数の推移を示したものです。



図中の%表示は感染被害に遭った割合。

### 2. ウイルス検出数の推移

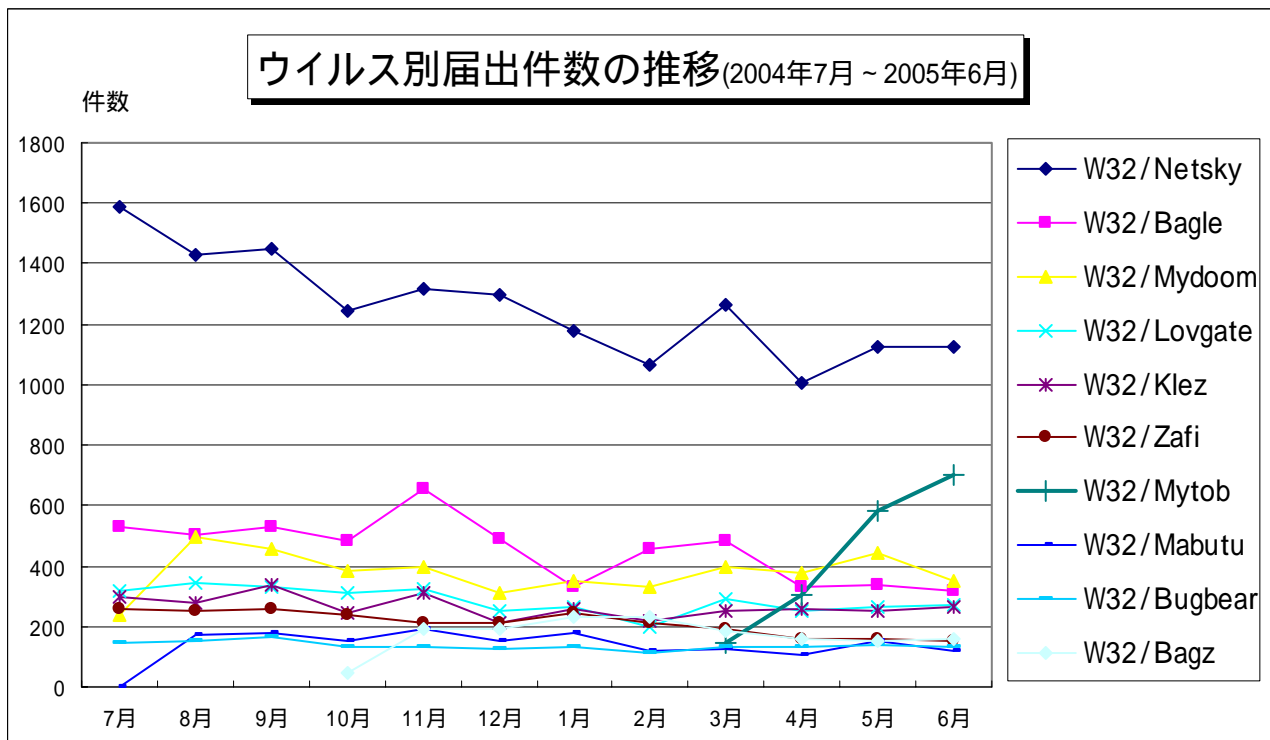
1 年間の検出数の推移を見ると、250 万個～350 万個前後で推移しています。ウイルス別では、W32/Netsky が総検出数の大多数を占めている状況が継続していましたが、2005 年 3 月に出現した W32/Mytob が急激に拡大しています。



### 3. ウィルス別届出件数

IPA に届けられたウイルス別届出件数の推移を見ると、W32/Netsky が突出している状況が伺えます。その他では、多数の亜種の発生が続いている W32/Mytob が急激に増加しています。

感染していることに気付かずにウイルスメールを発信しているユーザが多数存在している可能性があります。ワクチンソフトを利用して、ウイルスチェックを日頃から実施するようにしてください。



**お問い合わせ先**  
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター  
 花村 / 加賀谷 / 内山  
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp